



赠送MP3光盘

一番日语菁华

日语学习者必知的 日本民间故事



大连理工大学出版社

日语学习者必知的 日本民间故事

一番日本語菁華



大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语学习者必知的日本民间故事: 汉日对照 / 一番
日本语编辑部编. — 大连: 大连理工大学出版社,
2011.5

ISBN 978-7-5611-6197-5

I. ①日… II. ①—… III. ①日语—汉语—对照读物
②民间故事—作品集—日本 IV. ①H369.4: I

中国版本图书馆CIP数据核字(2011)第077024号

大连理工大学出版社出版

地址: 大连市软件园路 80 号 邮政编码: 116023

发行: 0411-84708842 邮购: 0411-84708943 传真: 0411-84701466

E-mail: dutp@dutp.cn URL: <http://www.dutp.cn>

大连理工印刷有限公司印刷

大连理工大学出版社发行

幅面尺寸: 145 mm × 210 mm	印张: 5.25	字数: 94 千字
附件: 光盘一张		印数: 1~5000
2011年5月第1版		2011年5月第1次印刷

责任编辑: 遆东敏

责任校对: 张海宁

封面设计: 董振巍

ISBN 978-7-5611-6197-5

定价: 16.80 元

主编寄语

那最后一丝的寒风挡不住柳絮轻扬的脚步，推开窗，不经意间的一片片会碰巧迷了你的眼。春天又这样的不约而至了。

每年的春天，《一番日本语》杂志都会和全国的读者相约。当今年的迎春花再一次漫山遍野地盛放，我们迷离在春色中，心情摇曳的时候，“一番日本语杂志菁华版图书”这书海中的一簇奇葩也悄然地绽放了。历经一整年的耕耘和积淀，编辑在精心梳理《一番日本语》杂志内容的基础上，根据读者的阅读喜好，从读者的学习需求出发，编辑出版了这套书。本套丛书分三个系列，从听、说、读、译各个方面培养读者的日语技能，提高您的日语水平。

阅读系列 为你呈现一个最日本：潮流东京，与秋叶原的潮人们一起领略光怪陆离的物质世界；游走日本，探访《非诚勿扰》的外景地——迷人的北海道；东瀛美食之旅，与吃家一起愉悦眼球，满足味蕾，唤起你大快朵颐的冲动。

在了解当今日本以后，传统日本故事帮你玩转穿越。回眸之间，时光已经流转了千百年。

这就是：《日语达人必知的东瀛潮流》、《日语达人必知的东瀛美景》、《日语达人必知的东瀛美食》、《日语学习者必知的日本民间故事》。

听力系列 为你准备了最新的NHK的饕餮大餐，全面挑战你的耳鼓。新闻按照专题分类，精心为你设计的听力练习，定会为你的日语能力考助一臂之力。

这就是：《听新闻练听力日语能力考试就这么简单》、《听



NHK新闻轻松突破日语能力考》。

娱乐系列 走进日本乐坛盛事——红白歌会，这里有以指甲彩绘、芭比造型引领亚洲时尚风潮的流行教主滨崎步；这里有叱咤当今日本乐坛的新生代组合——岚、AKB48。了解他们的故事，唱响他们的传奇，用最轻松的方式学习日语。

走进探讨人性伦理的日剧银幕，与你的偶像亲密接触，用最地道的口语讲述最真实的人生。

这就是：《跟日剧明星学流行口语就这么简单》、《日本人的年夜饭——红白歌会精选》。

人们常说，书是一位智者，每一本书都有自己的精神，会引领着你见到内在或不朽的所在。希望爱书的你能在这套图书旁驻足，翻开它，让它带着你进入有滋有味的日本世界。

2011年4月

目 录

日本の昔話

金太郎	2	金太郎的故事
笠地藏	8	斗笠地藏菩萨
一寸法師	13	一寸法师
桃太郎	18	桃太郎的故事
サルカニ合戦	23	猴蟹大战
長一い文字	31	长长的字
白ギツネの恩返し	36	白狐报恩
招き猫になったネコ	43	招财猫
馬鹿坊主	47	笨和尚
長靴を履いた猫	51	穿长靴的猫

日本の民話

スズメになった若者	58	变成麻雀的年轻人
わらびの恩	64	蕨菜之恩
天福地福	68	天福地福
お銀と小金物語	76	小银和小金的故事
橋の上の幸福	81	桥上的幸福



オオカミおばあさん	91	狼婆婆
お姫様と松の木	99	公主和松树
娘に化けた花の精	104	化作女子的花妖
鹿でも馬でもない	110	即非鹿，亦非马

江戸小話

おばあさんと目医者	122	老奶奶和眼科医生
やぶ医者	125	庸医
ヤギの番人と野生のヤギ	129	牧羊人与野山羊
乞食と福の神	132	乞丐和福神
けちの親子	137	父子吝啬鬼
留守番めがね	140	看家的眼镜
たから 宝のどんぶり	144	传家宝

イソップ童話

ろばとこおろぎ	150	驴和蟋蟀
一人息子と絵に描いたライオン	152	独生子和画中的狮子
ワシとトビ	155	雕和老鹰
ネズミの会議	159	老鼠的会议

日本の昔話





きん た ろ う 金太郎

きん た ろ う あしがらやま おく かあ ふたり く
金太郎は、足柄山の奥で、お母さんと二人で暮らしていました。

きん た ろ う ふと げん き おとこ こ おお まさかり
金太郎は、まるまる太った、元気な男の子です。いつも大きな 鉈

かつ やま おく い き き たお あそ
を担いで、山の奥に行っては、木を切り倒して、遊んでいました。

ひ くま で きん た ろ う にら
ある日、熊が出てきて、金太郎を睨みつけました。

われ もり かって あそ
「俺の森で勝手に遊ぶな」

くま さけ きん た ろ う と
熊はそう叫ぶと、金太郎に飛びかかってきました。

なに
「何をっ！」

きん た ろ う まさかり ほう だ くま め たか さ あ
金太郎は、鉈を放り出すと、いきなり、熊を目より高く差し上げ
ました。そして、どしん！と、地面に投げつけました。

くま こうさん
「まいったあ」熊は降参しました。

み しか さる で きん た
すると、それを見ていた鹿や猿やうさぎが出てきて、みんな金太
郎の友達になりました。

きょう すもう と きん た ろ う まさかり かつ
今日は、みんなで相撲を取ることにしました。金太郎は、鉈を担
いで、熊に跨ります。

ひろ ば つ と く きん た ろ う ど ひょう ま なか
広場に着くと、すぐに取り組みです。金太郎は、土俵の真ん中に
立ちました。

めんどう いっしょ
「面倒だ。みんな一緒にいかかってこい」

くま　しか　さる　うさぎが一度に金太郎に組み付きました。でも、
 きん　た　ろう　からだ　ふ　どうぶつ　はじ　と
 金太郎が体をぶるんと振ると、動物たちは弾き飛ばされてしま
 いました。

す　も　う　と　かえ　ちかみち
 相撲を取った帰りは、近道をするにしました。

と　ちゅう　がけ　した　かわ　なが　はし
 途中、崖があって、下を川が流れていました。でも、橋がかかっ
 ていません。金太郎は、そばの大きな木を力いっぱい押しました。
 き　た　お　りっ　ば　はし　で　き　あ
 めりめりめり。木が倒れて、立派な橋が出来上がりました。

よう　す　と　お　み　さむらい　さむらい　うす　い　さだ
 この様子を、遠くからじっと見ている侍がいました。侍は碓井貞
 みつ　い　に　ほんいちつよ　たいしょうみなものよりみつ　け　らい
 光と言いました。日本一強い大将、源 頼光の家来です。

さだみつ　きん　た　ろう　いえ　きん　た
 やがて、貞光は金太郎の家にやってきました。そして、金太
 ろう
 郎に、

ちからくら　い
 「おじさんと力比べをしよう」と言いました。

きん　た　ろう　さだみつ　く　あ
 金太郎と貞光は、がっぷりと組み合いました。「えーい」「そー
 ふ　た　り　ちから
 れ」二人ともすごい力です。

さだみつ　い
 やがて、貞光が言いました。

「わかった。もういいだろう」

さだみつ　きん　た　ろう　かあ　もう　で
 貞光は、金太郎のお母さんにこう申し出ました。

に　ほんじゅう　ある　つよ　さむらい　さが　きん　た　ろう
 「わたしは日本中を歩いて、強い侍を探しているのです。金太郎
 くん　ちから　つよ　こころ　やさ　みやこ　つ　りっ　ば　さむらい
 君は力が強いし、心も優しい。都に連れて行って、立派な侍にした



いのですが」

これを聞いて、お母さんは大喜びです。

「どうかこの子を、立派な侍にしてください」

金太郎がいよいよ都へ行く日が来ました。金太郎は、お母さんの前に手をつけて言いました。

「では、行ってまいります」

家の外では、熊や鹿、猿、うさぎが集まっていました。金太郎は

みんなの頭をなでながら言いました。

「きっと立派な侍になって、戻ってくるからね」

金太郎は、都に着くと、「坂田

金時」という名前を付けてもらい

ました。そして、頼光や貞光たち

と一緒に、大江山の鬼を退治しま

した。

金時はもう立派な侍だと頼光は言いました。

そこで、金時はお母さんに会う

ため、足柄山に戻ってきました。

熊や鹿、猿、うさぎも喜んで侍姿の金時を迎えました。



金太郎的故事

金太郎和妈妈两人住在足柄山里。

金太郎是个身体浑圆，精力非常充沛的小男孩，总喜欢扛着个大斧子到山里砍树玩。

有一天，跑出来一只熊，眼睛紧盯着他说：

“这是我的森林，你不能随便在这里玩。”

说着，就朝金太郎扑了过去。

“你说什么！”

金太郎把斧子一扔，一下子把熊举过头顶，然后，“咚”的一声，把它扔到了地上。

熊认输投降了。

看到这场比试的小鹿、猴子、兔子也都跑了出来，和金太郎成了朋友。

今天是大家进行相扑比赛的日子，金太郎扛着斧子跨坐在熊背上来比赛。

来到广场，比赛马上就要开始了。他站在相扑比赛场地中间，说道：

“别麻烦了，你们一起上吧。”

大熊、小鹿、猴子、兔子同时冲了上来和金太郎扭在一起。但是金太郎身子猛然一抖，把它们全都甩了出去。

比赛完，金太郎抄近路回家。

途经一个断崖，中间是湍急的河水，但是没有桥。金太郎用力推倒旁边的一棵大树，大树吱嘎嘎地横倒下去，成了一座结实的桥。

远处有一位武士，一直看着金太郎。武士名叫碓井贞光，是日本最有名的大将军源赖光的家臣。

贞光尾随着来到金太郎家，对金太郎说：



“和我比试一下吧。”

金太郎和贞光都是大力士，不分上下。

最后，贞光说道：

“好了，可以了。”

然后，对金太郎的母亲说：

“我正在全日本挑选本领高强的武士。金太郎是个大力士，而且心地善良，我想把他带到京城去，把他培养成为优秀的武士。”

母亲听后非常高兴地说：

“请把这个孩子培养成优秀的武士。”

终于到了进京的日子，金太郎拉着母亲的手依依惜别，说：

“那么，我出发了。”

大熊、小鹿、猴子、兔子也来为他送行，他摸着它们的头说：

“我一定成为优秀的武士回来。”

金太郎来到京城后，取名“坂田金时”，并和赖光、贞光他们一起打败了大江山（京都西北部的山）的妖怪。

赖光夸奖金时已成了优秀的武士。

金时满载荣誉重回足柄山看望母亲时，大熊、小鹿、猴子、兔子也闻讯赶来，高兴地迎接一身武士打扮的金时。

语法解释

- ①「～ことにする」表示以自己的意志决定某事。意为：决心……，决定……。

【例】今後一切、お酒は飲まないことにする。/我决心今后一点儿酒也不喝。

- ②「～ながら」表示前项和后项均为动作性动词时，同时进行动作。意为：一边……一边……，一面……一面……。

【例】彼女は髪をとかしながら、バスルームから出てきた。/她边梳头边从浴室里走了出来。

- ③「～てくる」既有移动动词的用法，又表示从过去到现在的持续及变化。意为：……来。

【例】明日は作文のテストをするから、辞書を持ってくる。/明天要进行作文考试，把词典拿来。

单词注释

- | | |
|-----------------|---------------|
| ① 鉞 (まさかり) | 板斧 |
| ② 担ぐ (かつぐ) | 扛，挑，背 |
| ③ 差し上げる (さしあげる) | 举起 |
| ④ まいる | 输，败，投降，折服 |
| ⑤ 降参 (こうさん) | 认输，投降 |
| ⑥ 跨る (またがる) | 跨，骑，横跨 |
| ⑦ 取り組み (とりくみ) | (相扑) 编组，对手的搭配 |
| ⑧ 土俵 (どひょう) | (相扑) 摔跤场 |
| ⑨ 組み付く (くみつく) | 揪在一起，扭成一团 |
| ⑩ 家来 (けらい) | 家臣，家仆 |
| ⑪ がっぷりと | 紧紧扭在一起状 |



かさ じ ぞう 笠地蔵

あるところに、^{まず}貧しくて^{とし と}年を取った夫婦^{ふう ふ}がいました。

^{おおみそ か}大晦日、^{かさ}おじいさんは、^{いつ つく}笠を五つ作りました。そして^{まち}町で、「^{かさ}笠
はいらんかねえ」と、^{う ある}売り歩きました。

でも、^{あした}明日は^{しょうがつ}お正月。みんな^{いそが}忙しくて、^{かさ}笠など^か買ってくれる人^{ひと}は
いませんでした。

おじいさんは^{かな}悲しくな^{そら あお}って、空を仰ぎました。

^{ゆき}雪が、^ふどんどん降^ふってきます。

「これでは、おばあさん^{なに か}に何も買^かってやれないが、しかたがな
い。^{かえ}帰るとしようか」

おじいさんは、^{ひと}独り^{ごと}言を^い言うと、^{いえ む ある だ}家に向^{ある}かって歩^だき出^だしました。

しばらく行くと、^い野原^{の はら}に、^{じ ぞうさま}お地蔵様^{にん た}が6人立^たっています。

「行^いくときは、^き気が^きつかなか^きったがなあ。さぞ、寒^{さむ}かろう」

おじいさんは、^う売^うれな^{かさ}かった笠^{かさ}を、^{じ ぞうさま かぶ はじ}お地蔵様^{はじ}に被^{かぶ}せ始^{はじ}めました。

^{ひと ふた みつ よっ ひとつ}一つ、二つ、三つ、四つ、五つ。

「あれ、^{ひと た}一つ足^たりないな」

そこで、おじいさんは、^{じ ぶん かぶ}自分^{ふる}の被^{かぶ}っていた古^{ふる}い笠^{かさ}を脱^ぬぐと、^{むっ}六^{むっ}つ

^め目^めのお地蔵様^{じ ぞうさま}に被^{かぶ}せてあげました。

「ぼろ^{がさ}笠ですが、勘弁^{かんべん}してください」

おじいさんは、家^{いえ}に戻ると、おばあさん^いに言いました。

「笠^{かさ}は全部^{ぜんぶ}、お地蔵様^{じぞうさま}に被^{かぶ}せてあげたよ」

すると、おばあさんはにっこり笑^{わら}って言^いいました。

「それはいいことをなさいましたね。今日^{きょう}は寒^{さむ}いから、もう寝^ねましようか」

二人^{ふたり}は、温^{あたた}かいお湯^ゆを飲^のむと、薄^{うす}い布団^{ふとん}に包^{くる}まって、眠^{ねむ}りました。

夜遅^{よるおそ}くです。重^{おも}い物^{もの}を引^ひきずる音^{おと}と、6人^{にん}の地蔵^{じぞう}に笠^{かさ}をかしたじい様^{さま}の家^{いえ}は何処^{どこ}だここだここだと手^てを叩^{たた}けという歌^{うた}声^{こえ}が聞こえました。

おじいさんとおばあさんは外^{そと}に出^でると、「ここだ、ここだ」と手^てを叩^{たた}きました。

すると、6人^{にん}のお地蔵様^{じぞうさま}が重^{おも}い荷物^{にもつ}をどんと置^おいて、帰^{かえ}って行^いきました。

荷物^{にもつ}には、お金^{かね}やお米^{こめ}、魚^{さかな}や着^き物^{もの}などが、いっぱい詰^つまっています。「本^{ほん}当^{とう}にありがたいことだ」二人^{ふたり}は、戻^{もど}って行くお地蔵様^{じぞうさま}に手^てを合^あわせました。

おかげで、二人^{ふたり}は、暖^{あたた}かくて楽^{たの}しいお正月^{しょうがつ}を迎^{むか}える事^{こと}ができました。



斗笠地藏菩萨

有一个地方，住着一对贫穷的老夫妇。

大年三十，老爷爷做了五顶斗笠，然后到城里去卖。“有没有要斗笠的？”老爷爷边走边叫卖。

但是，第二天就过年了。人们都忙得很，根本没人买斗笠。

老爷爷伤心地抬头看看天。

天渐渐下起了大雪。

“这样的话，就什么都不能给老伴儿买了。没办法，回家吧。”

老爷爷自言自语着，向家走去。

走了一会儿，看见原野上站着六位地藏菩萨。



“去时怎么没注意到呢，他们一定很冷吧。”

老爷爷开始把没卖掉的斗笠一项项给地藏菩萨戴上。一项，两项，三项，四项，五项。

“哎？还差一项。”

于是老爷爷把自己戴的旧斗笠摘下来，给第六位地藏菩萨戴上，说：

“是顶破的斗笠，请别怪罪。”

老爷爷回家后对老伴儿说：

“我把斗笠都给地藏菩萨戴了。”

老奶奶微微一笑，说：